

ダーブロック錠 1mg
ダーブロック錠 2mg
ダーブロック錠 4mg
ダーブロック錠 6mg

【この薬は？】

販売名	ダーブロック錠 1mg Duvroq Tablets 1mg	ダーブロック錠 2mg Duvroq Tablets 2mg	ダーブロック錠 4mg Duvroq Tablets 4mg	ダーブロック錠 6mg Duvroq Tablets 6mg
一般名	ダプロデュスタット Daprodustat			
含有量 (1錠中)	1mg	2mg	4mg	6mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、低酸素誘導因子（HIF : hypoxia inducible factor）-プロリン水酸化酵素（PH: prolyl hydroxylase）阻害薬と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、低酸素誘導因子-プロリン水酸化酵素（HIF-PH）を阻害することにより、赤血球のもとになる細胞を刺激する物質が増え、赤血球が作られやすくなって貧血が改善されます。
- ・次の病気の人に処方されます。

腎性貧血

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬の使用中に、脳梗塞、心筋梗塞、肺塞栓などの重篤な血栓塞栓症があらわれ、死亡に至ることがあります。血栓塞栓症が疑われる症状(吐き気、嘔吐(おうと)、脱力、まひ、激しい頭痛、胸の痛み、押しつぶされるような胸の痛み、突然の息切れ、激しい腹痛、お腹が張る、足の激しい痛み)があらわれた場合には、すみやかに医療機関を受診してください。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にダブブロック錠に含まれる成分で過敏症のあった人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・脳梗塞、心筋梗塞、肺塞栓などにかかっている人、または過去にかかったことがある人
 - ・高血圧症にかかっている人
 - ・悪性腫瘍のある人
 - ・増殖糖尿病網膜症、黄斑浮腫、滲出性加齢黄斑変性症、網膜静脈閉塞症などにかかっている人
 - ・心不全のある人、または過去に心不全があった人
 - ・肝臓に障害がある人
- この薬を使用する前に、貧血の検査（ヘモグロビン濃度の検査）が行われます。
- この薬は併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

〔保存期慢性腎臓病患者〕

赤血球造血刺激因子製剤で未治療の人に使用する場合	
一回量	投与開始時のヘモグロビン濃度に応じて、2 mg または 4 mg から使用を開始します。その後、必要に応じて使用量が調節されますが、1日24 mg を超えない範囲で医師が決めます。
飲む回数	1日1回
赤血球造血刺激因子製剤から切り替えた人に使用する場合	
一回量	4 mg から使用を開始します。その後、必要に応じて使用量が調節されますが、1日24 mg を超えない範囲で医師が決めます。
飲む回数	1日1回

〔透析患者〕

一回量	4 mg から使用を開始します。その後、必要に応じて使用量が調節されますが、1日24 mg を超えない範囲で医師が決めます。
飲む回数	1日1回

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

頭痛や胃腸障害（悪心、腹痛等）があらわれる可能性があります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・ヘモグロビン濃度などを測定するために定期的な血液検査が行われます。
- ・この薬の使用により血圧が上昇する場合があります。
- ・造血には鉄が必要なことから、必要に応じて鉄剤が使われることがあります。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
血栓塞栓症 けっせんそくせんしょう	吐き気、嘔吐、脱力、まひ、激しい頭痛、胸の痛み、押しつぶされるような胸の痛み、突然の息切れ、激しい腹痛、お腹が張る、足の激しい痛み

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	脱力、まひ
頭部	激しい頭痛
口や喉	吐き気、嘔吐
胸部	胸の痛み、押しつぶされるような胸の痛み、突然の息切れ
腹部	激しい腹痛、お腹が張る
手・足	足の激しい痛み

【この薬の形は？】

販売名	ダーブロック錠 1mg	ダーブロック錠 2mg	ダーブロック錠 4mg	ダーブロック錠 6mg
PTPシート				
形状	フィルムコーティング錠 	フィルムコーティング錠 	フィルムコーティング錠 	フィルムコーティング錠 
直径	7.1 mm	7.1 mm	7.1 mm	9.1 mm
厚さ	3.8 mm	3.8 mm	3.8 mm	4.7 mm
重さ	155 mg	155 mg	155 mg	308 mg
色	灰色	黄色	白色	帯赤白色
識別コード	GS KF	GS V7	GS 13	GS IM

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ダーブロック錠 1mg	ダーブロック錠 2mg	ダーブロック錠 4mg	ダーブロック錠 6mg
有効成分	ダプロデュスタット			
添加物	D-マンニトール、結晶セルロース、ヒプロメロース、クロスカルメロースナトリウム、軽質無水ケイ酸、ステアリン酸マグネシウム、酸化チタン、マクロゴール400、黒酸化鉄 ^{注)} 、黄色三二酸化鉄 ^{注)} 、三二酸化鉄 ^{注)}			

注) 1 mg 錠、2 mg 錠および6 mg 錠に添加

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

販売会社：協和キリン株式会社 (<https://www.kyowakirin.co.jp/>)

くすり相談窓口

電話：0120-850-150

受付時間：9時～17時

（土・日・祝日及び弊社休日を除く）